

# 営農情報

第1号 平成25年7月4日発行

(大豆営農情報 7月号)

福岡大城農業協同組合  
南筑後普及指導センター

## 1 ほ場づくり

- 麦わらが、播種された大豆種子付近に多量にあると、乾燥による発芽ムラを起こすことがあります。麦わらをすき込む際は、できるだけ均一に散らします。
- 最適な生育環境である、pH6.0～6.5の土壌づくりのため、耕起前に土壌改良剤を散布します。  
(炭酸苦土石灰ならば100kg/10a)
- 播種前雑草対策として、ラウンドアップマックスロードもしくはバスタ液剤を、200倍希釈で散布します。
- 耕起後は速やかに播種を行います。耕起後に雨にあうと、しばらくほ場が乾かず播種が遅れたり、逆に晴天が続くと、乾燥で大豆が出芽しなかったりします。

## 2 播種

- 種子消毒は、キヒゲンを種子10kg当たり100g混ぜます。
- 播種は、7月上旬から開始します。最適期は7月10～15日です。天候を見て、集落内で一斉播種を行いましょう。
- 適期播(7月上中旬頃)の場合、播種量は3～4kg/10a、株間は20～30cmとします。早播きの場合や、播種量が多い場合は、倒伏する可能性が高くなります。
- 降雨により、遅播(7月下旬頃)になる場合は、生育量を確保するため、播種量は6～8kg/10a、株間は15～10cmとします。
- 播種深度は3cmを基本とします。事前に雨が予測される場合はやや浅め、晴天が続くと予測される場合は深くします。特に梅雨明け以降に播種した場合、晴天が続く、乾燥による出芽不良が生じる場合があります。梅雨明け以降に播種する場合は、深めの播種深度(5cm程度)を心がけます。
- 大豆は通常、播種後1週間以内に出芽します。降雨等による出芽不良を判定する場合の目安とし、出芽が劣る場合は播き直しを行いましょう。
- 降雨翌日の播種が可能な部分浅耕播種を実施しまししょう。(特集参照)

### 3 雑草防除

平成25年産から、サターンバアロ剤からラクサー剤に変更しています。大型ヒユ類やホオズキ類に対して、今までの薬剤よりも高い効果を持ちます。ただし、これらの雑草は、除草剤だけの防除は難しいため、中耕培土を適期に行うなど、耕種的防除を心がけて下さい。

| 使用時期            | 薬剤名        | 10a当たり使用量  | 希釈水量    |
|-----------------|------------|------------|---------|
| 播種直後<br>(雑草発生前) | ラクサー粒剤     | 4～6 kg     | —       |
|                 | クリアターン細粒剤F | 4～5 kg     | —       |
|                 | ラクサー乳剤     | 400～600 ml | 100リットル |
|                 | クリアターン乳剤   | 500～800 ml | 100リットル |

※ 土壌が乾燥している場合は、希釈水量を増やします。

#### ○大型ヒユ類

イヌビユやホソアオゲイトウ等いくつかの種が存在するが、いずれも大豆よりも草丈が高く、成熟すると茎が赤くなるものが多い。収穫の際にコンバインに巻き込むと、茎の汁で大豆が汚れる。



↑<イヌビユ幼植物>



<ホソアオゲイトウ>→

#### ○ホオズキ類

ヒロハフウリンホオズキや、イヌホオズキ等の種が存在し、草丈は大豆と変わらない程度。収穫の際にコンバインに巻き込むと、茎の汁で大豆が汚れるほか、果実が大豆に混じる。

(写真は大豆栽培こよみに記載されています)

**農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!**

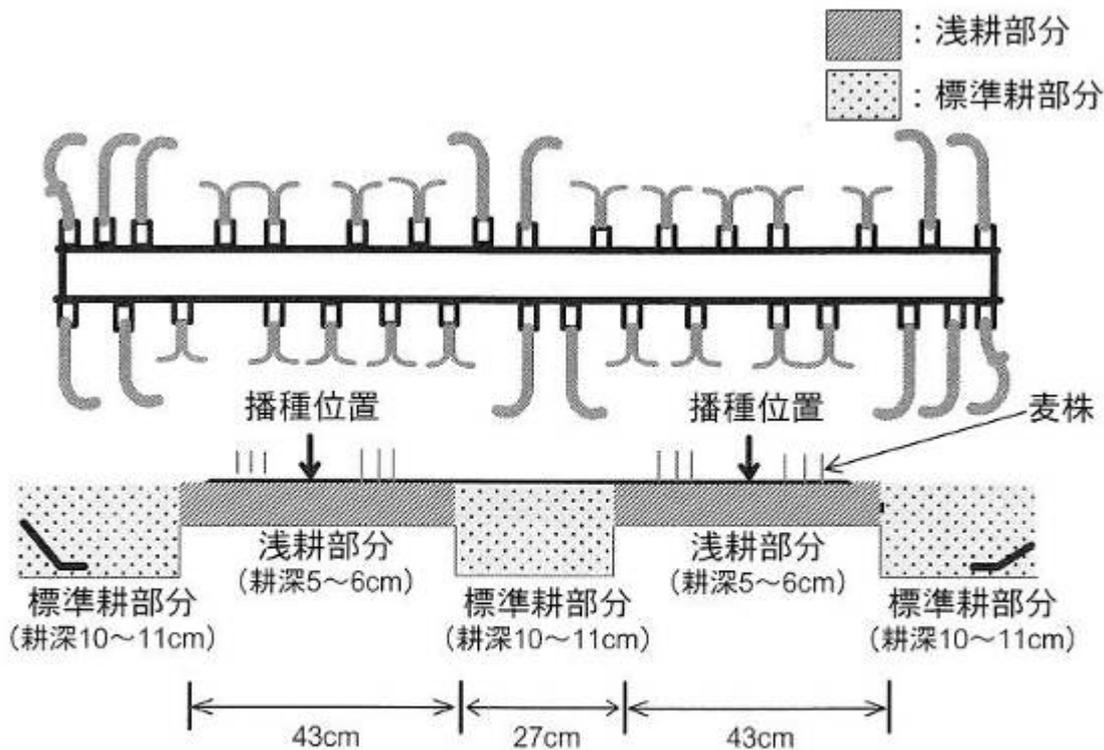
## ～特集・部分浅耕播種技術について～

播種前の耕起を省略し、一工程で播種すると、降雨翌日に播種作業が可能です。

部分浅耕播種技術は、雨の合間に播種が可能で、播種後の多雨、乾燥のどちらでも出芽が安定します。また、最下着莢高が高くなり、収穫ロスや汚損粒の低減にも有効です。

麦収穫後、麦うねをそのまま残し、爪を付け替えたロータリーで播種条を浅く、条間を標準の深さで耕起しながら播種します。

この技術を用いる場合、ロータリーの播種条にあたる部分の爪をはずし、かわりに培土用カルチ爪2枚を背中合わせで装着します。



部分浅耕播種用改造ロータリ  
(ロータリ幅140cmの例)

### ※注意点

- 前作の麦うね跡利用を前提としているので、大豆播種時には麦のうね幅と同じ幅のロータリーを使用します。
- 大豆播種前に、必ずラウンドアップマックスロードやバスタ液剤の散布を行います。
- 播種深度は、浅耕部分の鋤床に着くようにします(5cm程度)。

(詳細は、普及指導センターへお尋ねください。)